

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科	科目名・単位数		対象学年・組				
国語	現代の国語	(2 単位)	1A、1B				
教科担当者： (A組：今田、三好) (B組：今田、三好) (C組：)							
使用教科書：	183第一・現国716 新編現代の国語		使用教材等：	教科書・プリント・ICT機器			
学習目標：	論理的な思考力と判断力、表現力を身につける。国語で的確に表現する能力を身につけ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。						
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】				
常用漢字を活用する。語彙を豊かにする。話し言葉と書き言葉の特徴、主張と論拠、個別と一般化などの関係を理解する。		内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。情報を相互に関連づけながら解釈し、根拠を示して論述する。	他者の文章、発言を正確に理解できるよう努める。自分の考えが的確に伝わるように工夫する。調べたことを整理してまとめる。				
	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定時数
1学期	4月	(春季休業中)	文章を朗読する。言葉の用法を理解する。文章構成について考える。要旨をまとめることができる。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。				6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)					
		「『未知』はいくらでもある」(宮内悠介)通読・語彙		○		○	
		同上 段落ごとの読解			○		
	5月	同上 論理展開の分析、要旨まとめ			○		8
		オンライン学習デー(行事)、大型連休	自分の意見や考えをまとめる。(中間考査 5/14-19)	○	○	○	
		自分の意見や考えの論述		○	○		
		中間考査	文章を朗読する。			○	
	6月	「言語としてのピクトグラム」(本田弘之)通読					8
		同上 段落ごとの読解・語彙	文章を朗読する。文章構成について考え、要旨をまとめる。身の回りのピクトグラムについて考察する。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。	○	○		
		同上 論理展開の分析、要旨まとめ			○		
		同上 身の回りのピクトグラムの発見				○	
	7月	自分の意見や考えの論述			○	○	6
		期末考査	(期末考査 7/1-7)	○	○		
		答案返却	返された答案を見直し、学習を振り返り、今後の学習に活かす。			○	
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)					
8月	(夏季休業中)						
	(夏期休業中)						
2学期	9月	「臆病な詩人、街へ出る」(文月悠光)	文章を朗読する。詩人独特の表現に注目しながら筆者の問題意識をよみとる。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。				8
		同上 通読、段落ごとの語彙・読解		○	○	○	
		同上 エッセイの特徴について考える			○		
		同上 他者との関わりについて考え、まとめる			○	○	
	10月	同上 自分の場合について考え、まとめる				○	8
		同上 修辭法について	比喩表現の拡がりを感じとる。	○			
		同上 常用漢詩の読み書き	常用漢字の読み書きの練習。	○			
		中間考査	(中間考査 10/14-17)	○	○		
	11月	答案返却	返された答案を見直し、学習を振り返り、今後の学習に活かす。			○	8
		(セーフティ教室・農高祭準備)					
		(農高祭)	法律文・新聞記事を読み比べる。(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)	○	○		
		「法律の改正に関わる文章を読み比べる」		○	○		
	12月	同上 さまざまな資料を読む・法律の語彙			○		6
		同上 必要な情報を読み取る	自分の経験から題材を探す。		○	○	
		同上 社会問題との関連について考える				○	
		同上 社会に対する意見文を書く	意見文の書き方を理解する。	○	○		
12月	期末考査	授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。(期末考査)	○	○		6	
	答案返却、行事				○		
	HR指導、学校行事、終業式						
	(冬季休業中)	答案を見直し、今後に活かす。					
1月	(冬季休業中)	文章を朗読する。語彙を豊かにする。筆者の問題意識を論理的に読む。授業中の取り組みを観察し、プリント提出により内容を評価。	○			8	
	「『弱いロボット』の誕生」(岡田美智男)朗読		○				
	同上 語彙を豊かにする		○				
	同上 論理の展開を的確に捉える		○				
2月	同上 段落ごとの要旨を整理する				○	8	
	同上 「弱いロボット」の開発意図を考える	筆者の意図を読み取る。(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○		
	「地域の魅力を紹介する」情報発信の方法	地域の情報を集める方法を学ぶ。		○	○		
	同上 必要な情報を収集する	わかりやすく伝える技術を学ぶ。	○	○	○		
3月	同上 わかりやすい紹介文を書く	課題の提出。				4	
	学年末考査		○	○			
	答案返却、卒業式予行・卒業式	(学年末考査 3/2-6)			○		
	HR指導、学年集会、行事	答案を見直し、今後に活かす。					
3月	(行事・特別指導)、修了式、(春季休業中)						
履修上の注意					予定時数計		78
特記事項等							

令和7年度年間指導計画【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
公民		公共（2単位）						
教科担当者：		(A組：吉田) (B組：田中)		(取り出し：重松)				
使用教科書：		実教出版 公共		使用教材等：	自作プリント・視覚教材			
学習目標：		現代社会の諸課題について主体的に考察するとともに、平和で民主的な国家・社会の有為な形成者、主権者としての必要な資質を養う。						
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
選択・判断の手掛かりとなる概念や理論及び倫理、政治、経済などに関する現代の諸課題について理解している。また、諸資料から様々な情報を適切効果的に調べまとめている。		現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的に考察したり解決に向けて合意形成や社会参画を視野に入れながら公正に判断している。		社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)					6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)						
		オリエンテーション	世界の国々	○	○	○		
		オリエンテーション	西暦と世紀	○	○	○		
	5月	社会を作る私たち	青年期とは	○	○	○	8	
		社会を作る私たち	職業生活と社会参加	○	○	○		
		中間考査	中間考査	○	○			
		人間としてよりよく生きる	正しさとは何か	○	○	○		
	6月	人間としてよりよく生きる		○	○	○	8	
		人間としてよりよく生きる	ベンサムの功利主義	○	○	○		
		人間としてよりよく生きる	カントの義務論	○	○	○		
		人間としてよりよく生きる		○	○	○		
	7月	期末考査		○	○		6	
		答案返却						
		(セーフティ教室・学年集会・終業式)	期末考査					
		(夏季休業中)						
	8月							
2 学 期	9月	始業式、防災講話、グループエンカウンター					8	
		民主国家における基本原理	政治のはたらき	○	○	○		
		民主国家における基本原理	民主政治の基本原理	○	○	○		
		民主国家における基本原理		○	○	○		
	10月	民主国家における基本原理	民主政治のしくみと課題	○	○	○	8	
		民主国家における基本原理	世界の政治制度	○	○	○		
		中間考査	中間考査	○	○			
		日本国憲法の基本的性格	明治憲法下の政治	○	○	○		
	11月	(セーフティ教室・農高祭準備)					8	
		(農高祭)						
		日本国憲法の基本的性格	農高祭・振休・ボランティアの日	○	○	○		
		日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の成立	○	○	○		
	12月	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の基本的性格	○	○	○	6	
		日本国憲法の基本的性格		○	○			
		期末考査		○	○			
		答案返却、行事	(期末考査 12/8-12)					
3 学 期	1月	H R 指導、学校行事、終業式					8	
		(冬季休業中)						
		(冬季休業中)						
		自由に生きる権利	自由権の保障	○	○	○		
	2月	自由に生きる権利	精神の自由	○	○	○	8	
		自由に生きる権利	人身の自由	○	○	○		
		自由に生きる権利		○	○	○		
		自由に生きる権利		○	○	○		
	3月	(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○	○	4	
		学年末考査		○	○			
		答案返却、卒業式予行・卒業式						
		HR指導、学年集会、行事	(学年末考査 3/2-6)					
			(行事・特別指導)、修了式、					
			(春季休業中)					
	履修上の注意						予定時数計	78
	特記事項等							

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
数学		数学Ⅰ (2 単位)		1学年					
教科担当者:						(A組:白井 土屋)(B組:白井 土屋)(C組:)			
使用教科書:				高校数学Ⅰ (実教出版)		使用教材等: ステップノート 数学Ⅰ			
学習目標						基礎的・基本的な計算力を身につけ、自ら積極的に課題解決をしようとする態度を養う。			
観点別の評価基準									
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】					
数学Ⅰにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。		命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身につけることができる。		数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。					
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)		・数の計算、分数の計算ができる。 ・多項式の間項項をまとめ、次数の大きい順に整理することができる。 ・多項式の加法、減法の計算ができる。					6
		ガイダンス						○	
		計算の基本				○		○	
		文字を使った式のきまり				○		○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休							8
		整式の加減		(中間考査 5/14-19)		○		○	
		中間考査				○	○	○	
		整式の乗法				○		○	
	6月	乗法公式の展開1				○	○	○	8
		乗法公式の展開2				○	○	○	
		乗法公式の展開3				○	○	○	
		因数分解1				○	○	○	
	7月	因数分解2				○	○	○	6
		因数分解3				○	○	○	
		期末考査		(期末考査 7/1-7)		○	○	○	
		答案返却				○	○	○	
2 学 期	9月	(セーフティ教室・学年集会・終業式)				○	○	○	8
		(夏季休業中)							
		(夏期休業中)							
	8月								
	10月	平方根		・根号を含む式の加法、減法、乗法が計算できる。また、分母の有理化ができる。		○		○	8
		平方根とその計算				○	○	○	
		実数		・有理数、無理数の定義や実数の分類について理解している。		○		○	
		1次方程式		・不等式の性質を理解している。		○		○	
	11月	不等式				○		○	8
		不等式の性質1		・不等式における解の意味を理解しており、1次不等式を解くことができる。		○	○	○	
		不等式の性質2		・連立不等式を、数直線を用いて解くことができる。		○	○	○	
		中間考査		(中間考査 10/14-17)		○	○	○	
	12月	1次不等式1				○		○	6
		(セーフティ教室・農高祭準備)				○	○	○	
		(農高祭)							
		1次不等式2		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)		○	○	○	
3 学 期	1月	連立不等式				○	○	○	8
		不等式の利用1				○	○	○	
		不等式の利用2				○	○	○	
		期末考査				○	○	○	
	2月	答案返却、行事		(期末考査 12/8-12)		○	○	○	6
		HR指導、学校行事、終業式				○	○	○	
		(冬季休業中)							
	3月	(冬季休業中)							8
		集合と要素1				○		○	
		集合と要素2				○		○	
		集合と要素3				○	○	○	
	2月	命題1				○	○	○	8
		命題2				○	○	○	
		いろいろな証明方法1				○	○	○	
		いろいろな証明方法2				○	○	○	
3月	いろいろな証明方法3				○	○	○	4	
			(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○	○	○		
3月	学年末考査				○	○	○	4	
	答案返却、卒業式予行・卒業式				○	○	○		
	HR指導、学年集会、行事		(学年末考査 3/2-6)		○	○	○		
	(行事・特別指導)、修了式、				○	○	○		
(春季休業中)									
履修上の注意						予定時数計		78	
特記事項等									

令和7年度年間指導計画【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組						
理科	科学と人間生活	(	2 単位)	1年A組・B組						
教科担当：A組： 永井 (B組： 永井) (C組：)										
使用教科書：		2 東書・科人701 科学と人間生活			使用教材等： 教科書・プリント・映像教材・デジタルコンテンツ					
学習目標		中学理科第一・第二分野の内容を基礎として、『科学と人間生活』のうち、微生物とその利用、遺伝とDNA、物質の構成と変化、金属、プラスチックの性質とその利用、光と電磁波、天文、個体地球の構造等の各分野について上位学年で学ぶ内容踏まえて基礎的内容を中心に幅広く指導する。								
観点別の評価基準										
【知識・技能】			【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】					
生物化学分野では基礎的な元素記号や化学式、光合成や呼吸の化学反応式、固体地球科学では地球の層構造と地殻変動、防災等についても指導する。語句の定義・使い分けを正確に理解し用いることができることを目標とする。			図やグラフの読み取りや活用を重視し、計算のある問い等では正しく式を立て示せる力を養う。また、重要事項については要点について過不足なく正しく説明することができることを目標とする。		授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況、実験や観察・実習等へ参加する姿勢と主体性を持った取り組みおよびレポート等を総合的に評価する。					
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)							6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)								
		ガイダンス、科学と人間生活で学ぶもの		細胞の構造では微生物とその利用も参照し、指導する。細胞の構造については特に重点的に指導する。ウイルスにも触れる。				○		
		1編 生命の科学、1章 微生物とその利用、様々な微生物身のまわりの微生物、微生物の生物分類、細胞の構造					○	○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休							8	
		窒素同化と微生物、水中の微生物、中間考査		植物の窒素同化や光合成を中心に、生物界を巡るエネルギーの流れが太陽光の利用から始まっていることを理解させる。微生物の利用については食品での利用を必ず扱う。				○		
		微生物の発見の歴史、生態系での微生物のはたらき					○	○		
		食品と微生物、発酵、中間考査のまとめ					○	○		
	6月	医薬品と微生物		生命現象が外部刺激を生存に活用していることを理解させる。金属の精製で酸化・還元についても触れる。資源のリサイクルについても触れる。					8	
		2章 ヒトの生命現象、遺伝・代謝・恒常性、体に必要な栄養素					○	○		
		遺伝の仕組み、細胞分裂、遺伝子の働きとDNA、タンパク質の合成						○		
		2編 物質の化学 1章 材料とその利用 資源の再利用と3R						○		
	7月	金属の性質、身近な金属とその利用							6	
		期末考査								
		答案返却、解答解説、必要に応じ追指導		高分子化合物の構造と重合反応の仕組み、リサイクルの方法について理解させる。				○		
		2章 プラスチックの性質とその再利用						○		
		(夏季休業中)								
		(夏期休業中)								
	8月									
2 学 期	9月	金属の精錬と酸化還元反応、金属の再生利用		単元に出てくる主な元素記号等は				○	8	
		プラスチックの製造、重合反応、プラスチックの再生		は周期表とともに覚えるよう指導する。				○		
		食品の科学、脂質、炭水化物、タンパク質						○		
		3編 光や熱の科学 1章 光の性質とその利用、電磁波の分類						○		
	10月	光の進み方と見え方、光の波動性、反射・屈折・回折							8	
		光のスペクトル、光の三原色と色、視覚と目の構造		電磁波の利用では、リモコンや電子レンジ、通信や放送用電波の区分など生活に即した事例を取り上げる。				○		
		目に見えない光とその利用、中間考査のまとめ						○		
		中間考査								
	11月	2章 熱の性質とその利用、原子と分子の熱運動、熱の伝わり方						○	8	
		セルシウス温度と絶対温度、						○		
		(農高祭)								
		比熱、熱とエネルギー		説対温度では、熱が原子・分子の熱振動であることを理解させ、絶対零度が熱振動0を意味することを理解させる。恒星と他の天体の違いを明示。彗星や小惑星等の構成要素も取り上げる。				○		
	12月	4編 宇宙や地球の科学 1章 太陽と地球 太陽と月が作る暦						○	8	
		海面の変動・潮の満ち引きと月、太陽の放射エネルギー						○		
		地球の熱収支と大気・海洋の循環、気象						○		
		2章 自然景観と自然現象、太陽のエネルギーが作る景観、期末考査のまとめ						○		
1月	期末考査							6		
	答案返却、行事		太陽放射が地球の気候や植生を決定していることを示す。				○			
	HR指導、学校行事、終業式									
	(冬季休業中)									
3 学 期	1月	(冬季休業中)							8	
		移り変わる地球の景観、山地や低地のでき方		地震では、地球の層構造やプレートテクトニクスと大陸の移動、プレート境界プレート運動にも触れる。				○		
		プレートテクトニクスと大陸の移動、プレート境界						○		
		火山が作る景観、火山の分類と火成岩の分類						○		
	2月	自然災害と防災、地震による災害							8	
		火山による災害		自然災害のメカニズムについて理解し、防災・減災のためにどのような考え方をすれば良いか指導する。				○		
		気象災害・土砂災害						○		
		自然災害と人間はどう付き合うか						○		
	3月	学年末考査のまとめ							4	
		学年末考査								
		答案返却、卒業式予行・卒業式						○		
		HR指導、学年集会、行事		必要に応じて補充指導や課題を実施する。						
			(行事・特別指導)、修了式、							
			(春季休業中)							
	履修上の注意						食化・普通科共通必修修		予定時数計	78
	特記事項等									

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
保健体育		保健	(1 単位)	1学年A組・B組				
教科担当者：		(A組： 広島)	(B組： 広島)	(C組：)				
使用教科書：		現代高等保健体育		使用教材等：	現代高等保健体育ノート			
学習目標：		保健の見方・考え方を働かせて、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。						
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)					3	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)	・授業の進め方について理解する			○		
		オリエンテーション	・健康についての多様な考え方、健康の成り立ちとその要因について理解する。		○			
		健康の考え方と成り立ち	・わが国における健康水準の変化、健康問題の変化について理解する。	○				
		私たちの健康のすがた		○		○		
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休 私たちの健康のすがた	(中間考査 5/14-19)	○			4	
		中間考査	・わが国における健康水準の変化、健康問題の変化について理解する。	○	○			
		生活習慣病の予防と回復	・生活習慣病について呼称の由来や病例を説明できるようにする。		○			
		生活習慣病の予防と回復		○				
	6月	運動と健康	・食生活の重要性と意義、運動の意義、食生活・運動習慣の形成について理解する。	○			4	
		運動と健康		○				
		食事と健康	・休養・睡眠の意義、よりよい休養・睡眠のとり方について理解する。		○			
		休養・睡眠と健康		○		○		
	7月	期末考査 答案返却 (セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)	○			3	
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
		(夏季休業中)						
	8月							
	2 学 期	9月	喫煙と健康	・喫煙の健康影響、喫煙開始の要因と依存症、日本や世界におけるたばこ対策について理解する。	○			4
			喫煙と健康	・飲酒による健康への短期的および長期的影響について理解する。	○		○	
			飲酒と健康	・薬物乱用や薬物依存による健康への悪影響について理解する。		○		
			薬物乱用と健康			○		
		10月	精神疾患の特徴	(中間考査 10/14-17)・うつ病などの精神疾患の要因と種類、課題を理解する。			○	4
			精神疾患の予防		○			
中間考査			・精神疾患の予防・早期発見と治療について理解する。			○		
精神疾患の予防						○		
11月		(セーフティ教室・農高祭準備)				○	4	
		(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)・専門家による支援と治療や社会環境の整備について理解する。		○			
		精神疾患からの回復	・感染症について新たに注目される感染症、再び問題となっている感染症について理解する。	○				
		精神疾患からの回復		○				
12月		現代の感染症		○			3	
		現代の感染症		○				
		期末考査	(期末考査 12/8-12)・感染症について新たに注目される感染症、再び問題となっている感染症について理解する。			○		
		答案返却、行事 H R 指導、学校行事、終業式		○	○			
3 学 期	1月	(冬季休業中)					4	
		性感染症・エイズとその予防	・ヘルスプロモーションの考え方について理解する。			○		
		健康に関する意思決定・環境づくり	・交通事故の現状とその要因について理解する。		○			
		事故の現状と要因	・安全な運転のための資質、交通事故の責任と補償について理解する。	○				
	2月	安全な社会の形成		○			4	
		交通における安全	(自宅学習・入選・採点2/20-25)・応急手当の意義やその手順について理解する。			○		
		応急手当の意義とその基本	・けがの応急手当、熱中症の応急手当について理解する。			○		
		心肺蘇生法	・心肺蘇生法の原理と意義、心肺蘇生法の各手順について理解する。			○		
	3月	日常的な応急手当				○	2	
		学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式 H R 指導、学年集会、行事	(学年末考査 3/2-6)	○		○		
		(行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)		○		○		
履修上の注意				・授業への出席状況・授業態度、提出物・小テスト・定期考査を総合的に評価を行う		予定時数計	39	
特記事項等								

教科		科目名・単位数		対象学年・組				
保健体育		体育 (2 単位)		1年A組・B組				
教科担当: (A組: 高崎・中村) (B組: 高崎・中村) (C組:)								
使用教科書: 現代高等学校保健体育				使用教材等:				
学習目標: 体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を育成することを目指す。								
観点別の評価基準								
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】				
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにする。運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの問題を身に付けるようにする。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。		運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、思いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に励む態度を養う。				
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数	
1 学 期	4月	(春季休業中)	・授業の受け方、係の役割、評価についての説明により安全かつ円滑な授業運営ができるようにすることができる。 ・ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定することができる。				6	
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)				○		
		オリエンテーション				○		
		オリエンテーション			○			
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ることができる。 ・後半でスピードが著しく低下しないよう、力みのないリズムカナル動きで走ることができる。	○			8	
		陸上競技		○				
		中間考査			○			
		陸上競技		○				
	6月	卓球	・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。	○			8	
		卓球		○		○		
		卓球		○				
		卓球		○				
	7月	期末考査	(期末考査 7/1-7)			○	6	
		答案返却		○				
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)		○				
(夏季休業中)								
		(夏期休業中)						
8月								
2 学 期	9月	卓球	・ラリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所をカバーすることができる。 ・連携プレイのための基本的なフォーメーションに応じた位置に動く。	○			8	
		卓球		○		○		
		スポーツフェスティバル練習			○			
		スポーツフェスティバル練習			○			
	10月	スポーツフェスティバル練習	(中間考査 10/14-17)・選択した運動について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えることができる。		○		8	
		スポーツフェスティバル練習			○			
		中間考査			○			
		スポーツフェスティバル練習			○			
	11月	(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6))・リズムカナル腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。				8	
		長距離走		○				
		長距離走				○		
		長距離走		○				
	12月	長距離走	(期末考査 12/8-12)・リズムカナル腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。			○	6	
		期末考査		○				
		答案返却、行事		○	○			
HR指導、学校行事、終業式		○						
		(冬季休業中)						
3 学 期	1月	(冬季休業中)	・リズムカナル腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ることができる。 ・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。	○			8	
		長距離走		○				
		長距離走		○	○			
		長距離走		○				
	2月	アルティメット	(自宅学習・入選・採点2/20-25)・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えることができる。	○			8	
		アルティメット		○				
		アルティメット			○			
		アルティメット				○		
	3月	学年末考査	(学年末考査 3/2-6)	○			4	
		答案返却、卒業式予行・卒業式		○				
		HR指導、学年集会、行事				○		
		(行事・特別指導)・修了式、				○		
			(春季休業中)					
	履修上の注意						予定時数計	78
	特記事項等							

予定時数計

78

教科	科目名・単位数	対象学年・組							
外国語	英語コミュニケーションⅠ (3 単位)	1A・1B							
教科担当者: (A組: 藤本) (B組: 藤本) (C組:)									
使用教科書:	三省堂 VISTA English CommunicationⅠ	使用教材等: 自作プリント							
学習目標: 中学校学校学習範囲を土台として英語の基礎内容を深める。									
観点別の評価基準									
【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】							
英語の音声や画像、表現、文法、言語の働きなどの理解を深め、これらの知識を4技能による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけるようにする。	目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したりすることができる力を養う。	授業中の参加する姿勢や態度、発言や発問に対する回答、ノート・課題・プリント等への取り組みと提出状況を総合的に評価する。							
——	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数		
1 学 期	4月	(春季休業中)	基本的な英作文を確認させる。 「色」を通じて、日本や世界の文化を考えさせる。				9		
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)							
		ガイダンス							
		英文構造理解 Lesson 1 Colors of Spring			○	○		○	
	5月	オンライン学習デー(行事)、大型連休 一般動詞、be動詞	(中間考査 5/14-19) ・be動詞や一般動詞の現在形を用いて、身近な様子や状況を描写し相手に伝えられるようにする。		○	○	○	12	
		中間考査		○	○	○			
		be動詞、一般動詞の過去形			○	○	○		
		be動詞、一般動詞の過去形			○	○	○		
	6月	Lesson 2 Dick Bruna Lesson 2 Dick Bruna 一般動詞の過去形	・芸術への理解を深める。またブルーナの活動から、社会貢献について考えさせる。 ・一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。		○	○	○	12	
		一般動詞の過去形			○	○	○		
		一般動詞の過去形				○	○		○
		1学期のまとめ、振り返り			○	○	○		
	7月	期末考査 答案返却 (セーフティ教室、学年集会、終業式)	(期末考査 7/1-7)		○	○	○	9	
		(夏季休業中)							
(夏期休業中)									
	8月								
2 学 期	9月	Lesson 3 Interesting Sports Lesson 3 Interesting Sports Lesson 3 Interesting Sports 現在進行形・過去進行形 現在進行形・過去進行形	・芸術への理解を深める。またブルーナの活動から、社会貢献について考えさせる。 ・一般動詞の過去形では、語尾の形やその発音の違いに注意させる。		○	○	○	12	
					○	○	○		
						○	○		○
						○	○		○
	10月	現在進行形・過去進行形 テスト対策、振り返り 中間考査 Lesson 4 Pictograms (セーフティ教室・農高祭準備)	(中間考査 10/14-17) ・ピクトグラムについて知る。それがどのような場面で使用されているか、またその役割について知る。		○	○	○	12	
					○	○	○		
					○	○	○		
					○	○	○		
	11月	(農高祭) Lesson 4 Pictograms 助動詞・動名詞 助動詞・動名詞 助動詞・動名詞	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6) ・文法事項「助動詞」についてその種類と用法を知る。動名詞の使用方法を学ぶさせる。			○	○	12	
						○	○		○
						○	○		○
						○	○		○
	12月	2学期のまとめ、振り返り 期末考査 答案返却、行事 HR指導、学校行事、終業式 (冬季休業中)	(期末考査 12/8-12)		○	○	○	9	
					○	○	○		
				○	○	○			
3 学 期	1月	(冬季休業中) Lesson 5 We Are Part of Nature Lesson 5 We Are Part of Nature to不定詞 to不定詞	世界中でも活動を行っている動物写真家の岩谷光昭さんの動物と自然の思いを知る。準動詞to Vの3用法の文章を理解させる。		○	○	○	12	
					○	○	○		
						○	○		○
						○	○		○
	2月	接続詞 接続詞 to不定詞 文章解釈	(自宅学習・入選・採点2/20-25)			○	○	12	
						○	○		○
						○	○		○
	3月	学年末考査 答案返却、卒業式予行・卒業式 HR指導、学年集会、行事 (行事・特別指導)、修了式、 (春季休業中)	(学年末考査 3/2-6)		○	○	○	6	
	履修上の注意							予定時数計	117
	特記事項等								

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組					
情報		情報Ⅰ (2 単位)		1B					
教科担当者:		(A組:) (B組: 将口 美恵子) (C組:)							
使用教科書:						使用教材等:			
学習目標		情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報技術を活用して問題の発見・解決を行う学習活動を通して、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。							
観点別の評価基準									
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】					
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。		事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。		情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。					
学期	月	指導内容・単元		具体的な指導内容・評価方法		知	思	態	予定 時数
1 学 期	4月	(春季休業中)							6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)		課題作成の正確性・到達度					
		第1編第1章 A 情報とは何か		・発問		○		○	
		B 情報源と情報の検証		・観察		○	○	○	
	5月	C 情報とメディアの特性				○	○	○	8
		オンライン学習デー(行事)、大型連休							
		D 問題解決のプロセス		(中間考査 5/14-19)		○		○	
		中間考査							
	6月	第2章 A 情報社会と法規・制度				○	○	○	8
		B 個人情報の適正な利活用と保護				○		○	
		C 知的財産権		課題作成の正確性・到達度		○	○	○	
		D 情報セキュリティ		・発問		○		○	
	7月	E 情報セキュリティ対策のための技術		・観察		○		○	6
		F 情報セキュリティ対策のための技術				○	○	○	
		期末考査							
		答案返却		(期末考査 7/1-7)					
8月	(セーフティ教室、学年集会、終業式)								
	(夏季休業中)								
	(夏期休業中)								
2 学 期	9月	第3章 A 情報技術の発展の光と影				○	○	○	8
		B 情報技術の適切な活用		課題作成の正確性・到達度		○		○	
		第2編第1章 A アナログとデジタル		・発問		○	○	○	
		B デジタル情報の表現		・観察		○		○	
	10月	C 文字のデジタル表現				○	○	○	8
		D 音のデジタル表現				○		○	
		E 画像のデジタル表現		(中間考査 10/14-17)		○	○	○	
		中間考査							
	11月	F 動画のデジタル表現				○		○	8
		(セーフティ教室・農高祭準備)							
		(農高祭)							
		G データの圧縮		(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)		○	○	○	
	12月	第2章 A 通信とその進展				○		○	6
		B マスコミュニケーションの進展				○	○	○	
		C 情報の発信とメディアの性質				○		○	
		C 情報の発信とメディアの性質				○		○	
3 学 期	1月	期末考査		(期末考査 12/8-12)					6
		答案返却、行事							
		HR指導、学校行事、終業式							
		(冬季休業中)							
	2月	(冬季休業中)							8
		第4章 A プレゼンテーションとは		課題作成の正確性・到達度		○	○	○	
		B プレゼンテーションの流れと注意点		・発問		○		○	
		第3編第1章 A コンピュータの構成		・観察		○	○	○	
	3月	B コンピュータのソフトウェア				○	○	○	8
		C コンピュータでの数値の内部表現				○	○	○	
		第2章 A アルゴリズム		(自宅学習・入選・採点2/20-25)		○		○	
		B プログラミング言語とは				○	○	○	
	3月	C プログラミングの方法							4
		学年末考査							
		答案返却、卒業式予行・卒業式		(学年末考査 3/2-6)					
		HR指導、学年集会、行事							
(行事・特別指導)、修了式、									
(春季休業中)									
履修上の注意		定期考査は行わず、授業内の作業・日常点等を総合的に評価する。					予定時数計		78
特記事項等									

令和7年度年間指導計画 【様式1】

教科		科目名・単位数		対象学年・組			
商業		ビジネス基礎	(2 単位)	1B			
教科担当者:		(A組:) (B組: 名取) (C組:)					
使用教科書:		7 実教・商業701 ビジネス基礎		使用教材等:			
学習目標:		ビジネスの各分野を体系的、系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付け、これからのビジネス社会に対し、創造性、主体性を持って自ら学ぶ力が養われるよう幅広く指導する。					
観点別の評価基準							
【知識・技能】		【思考・判断・表現】		【主体的に学習に取り組む態度】			
ビジネスの実務に即して、体系的、系統的に理解し、基礎的な知識と技術を身に付けることを目標とする。		ビジネスに関する課題を発見し、企業活動が社会に及ぼす影響を考え、解決する力を養う。またデータや事例などを正しく理解し、判断できることを目標とする。		ビジネスに対し、自ら学ぶ態度、姿勢を、授業中の発言、発問に対する回答、ノートのまとめ方、課題への取り組みなどで総合的に判断し評価する。			
学期	月	指導内容・単元	具体的な指導内容・評価方法	知	思	態	予定 時数
1 学 期	4 月	(春季休業中)	ビジネスの基礎を一年間学習する				6
		(始業式・入学式・教科書・健診・対面式)	上での留意点を理解させる。また、今日のビジネスが私たちの生活にどのように関わっているかを理解させる。	○		○	
		ガイダンス、私たちの生活とビジネス		○	○	○	
		社会を支えるビジネス					
	5 月	オンライン学習デー(行事)、大型連休	(中間考査 5/14-19)				8
		産業構造の変化とビジネス、情報化とビジネス	現在のビジネス社会が抱える諸問題について、身近な例をもとに考えさせる。	○	○	○	
		中間考査					
		グローバル化とビジネス、社会の課題とビジネス		○	○	○	
	6 月	経済活動と流通		○	○	○	8
		ビジネスコミュニケーション	ビジネスマナーやビジネスコミュニケーションについて身近な例とともに理解させ、ビジネスに関わる情報について正しい判断ができるようにさせる。また、経済主体としての家計の役割を理解させる。	○		○	
		生徒総会					
		マナー・情報の入手と活用		○		○	
	7 月	経済の仕組みとビジネス(経済主体)・1学期のまとめ		○	○	○	6
		期末考査	(期末考査 7/1-7)				
		答案返却		○	○		
		(セーフティ教室、学年集会、終業式)					
8 月	(夏季休業中)						
	(夏期休業中)						
2 学 期	9 月	経済の仕組みとビジネス(生産要素)	流通の歴史と発展、役割について理解を深め、今後の課題を見つけさせる。また、流通業の種類についても理解させる。	○	○	○	8
		経済の仕組みとビジネス(需要と供給)		○	○	○	
		流通の歴史と発展		○	○	○	
		流通の役割		○	○	○	
	10 月	流通の進化	(中間考査 10/14-17)				8
		ビジネスの種類	流通の進化、今後の展開について理解を深め、身近な例をもとに考えさせる。	○	○	○	
		中間考査		○	○		
		(セーフティ教室・農高祭準備)					
	11 月	(農高祭)	(農高祭・振休・ボランティアの日 11/1-11/6)				8
		小売業(チェーン化)	小売業について、様々な角度から整理し、理解を深めさせる。	○	○	○	
		小売業(店舗販売その1)		○	○	○	
		小売業(店舗販売その2)		○	○	○	
	12 月	小売業(無店舗販売・商業集積)		○	○	○	6
		卸売業・2学期のまとめ	(期末考査 12/8-12)	○	○	○	
		期末考査	卸売業についての理解を深めるとともに、2学期のまとめを行いテストに向けて準備を行う。	○	○		
		答案返却、行事					
3 学 期	1 月	H R 指導、学校行事、終業式					8
		(冬季休業中)					
		(冬季休業中)					
		物流業・金融業の役割や課題について理解を深める。	物流業・金融業の役割や課題について理解を深める。	○		○	
	2 月	ビジネス計算の基礎(電卓に使い方)	電卓を使用し、ビジネス計算の基礎を習得する。	○	○	○	8
		物流業・ビジネス計算の基礎(見取算)					
		自宅学習					
		金融業・ビジネス計算の基礎(乗算・除算)		○	○	○	
	3 月	情報通信業・ビジネス計算(応用)	(自宅学習・入選・採点2/20-25)	○	○	○	8
		ビジネスと企業・ビジネス計算(応用)	情報通信業・企業の役割や課題について理解を深める。	○	○	○	
		自宅学習	電卓を使用し、ビジネス計算の応用を習得する。	○	○	○	
		企業の資金調達・雇用・3学期のまとめ					
	4 月	学年末考査		○	○		4
		答案返却、卒業式予行・卒業式	(学年末考査 3/2-6)				
		H R 指導、学年集会、行事					
		(行事・特別指導)、修了式、					
5 月	(春季休業中)						
履修上の注意		ノートのまとめ方に各自で工夫する。日々のニュースなどからビジネス、経済の話題を意識する。			予定時数計		78
特記事項等		3学期は電卓を活用する。					